

		科目コード	219
科目名	地域看護学演習 (Seminar on Community Health Nursing)	選択区分	選択
単位数(時間)	2単位(60時間)	履修時期	1通
担当者	野村 美千江・田中 美延里		
授業概要	地域看護学特論Ⅰ・Ⅱで学んだ諸理論や実践への応用を踏まえ、地域における種々の健康課題解決を図る方策や看護実践への研究成果活用について、討論を通じて探究するとともに、文献を批判的に読み、研究に対する洞察力を深める。		
授業目標	①地域看護領域における研究課題が概観できる。 ②研究活動に必要な情報を継続的に収集することができる。 ③実践事例を構造化することができる。 ④省察的实践に向けてポートフォリオの作成ができる。 ⑤地域看護研究論文をクリティークし、自身の研究に活用できる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1・2	ガイダンス	個人学習と協同学習 各自の課題や探求学習・研究履歴の意見交換 地域看護領域における研究課題の概観	野村美千江
3～6	フィールドワーク	継続的な情報収集 各自の職場やフィールドにおいて実践されている活動を事例に取り上げ、必要な情報を収集する。	
7・8	事例の構造化	集団・組織・地域の健康課題の明確化や課題解決への支援方法の理論を活用し、事例を構造化する。	
9・10		活動事例の構造化に基づく事例検討 集団・組織・地域を対象にした理論の応用について討論	
11・12	省察的实践	省察的实践に向けて経験の質を高めるポートフォリオの意義とその作成方法	田中美延里
13～16		個人ワーク：ポートフォリオの作成	
17・18		ポートフォリオの披露による経験知の交換 省察的实践や人材育成への活用に関するディスカッション	
19・20		個人ワーク：文献渉猟と文献検討	
21・22	論文クリティークと討論	量的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション	野村美千江 田中美延里
23・24		質的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション	
25・26		アクションリサーチを用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション	
27・28		地域看護学研究における倫理的課題の明確化とディスカッション	
29・30	まとめ	学習成果の発表	
成績評価方法		学習成果発表(100%)で評価する	
必携あるいは参考図書・文献		参考図書 ①Catherine Pope, Nicholas Mays, Jennie Popay. Synthesising Qualitative and Quantitative Health Evidence: A Guide to Methods, Open University Press, ②Catherine Pope ほか著、伊藤景一ほか訳：質的研究と量的研究のエビデンスの統合：ヘルスケアにおける研究・実践・政策への活用、医学書院。③木下康仁：文化と看護のアクションリサーチー保健医療への人類学的アプローチ、医学書院。④Alison Morton-Cooper 著、岡本玲子他訳：ヘルスケアに活かすアクションリサーチ、医学書院、. ほか適宜紹介する。	
備 考		地域看護学特論Ⅰ・Ⅱの履修を前提とする	